

SI-1500, 2000, 2500

低NOx・低煤塵により環境にやさしい



(SI-2000VR)



ボイラ効率 **96%**
(財)日本小型貫流ボイラ協会の「ボイラ性能表示基準値」による

低NOx実測値 **A重油** (N分=200ppm) (O₂=0%換算)

SI-1500VS **60ppm**以下
 SI-2000VR **65ppm**以下
 SI-2500 R **65ppm**以下

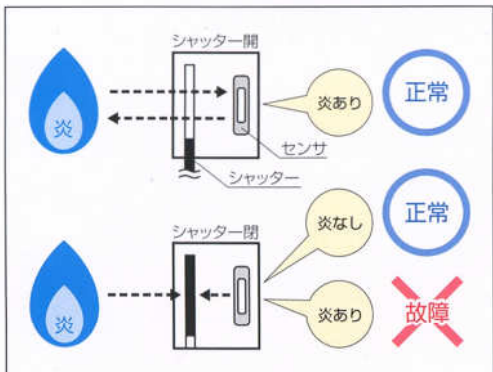
低NOx実測値 **灯油** (O₂=0%換算)

SI-1500VS **40ppm**以下
 SI-2000VR **45ppm**以下
 SI-2500 R **40ppm**以下

スモーク度
1以下

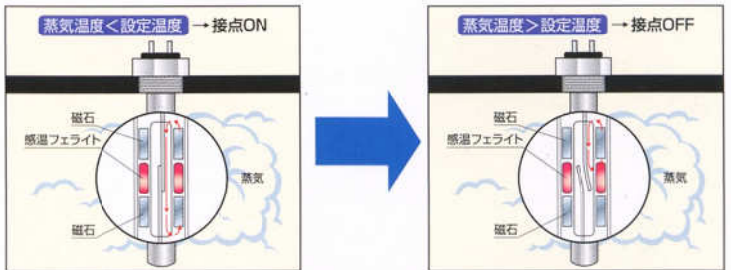
1 炉内燃焼への対応 自己診断機能付き炎センサ

炎センサが故障していないか、シャッターにより光感知部を定期的に遮断し、炎センサ自身が自己チェックします。



2 高性能な蒸気圧スイッチ

従来の機械式圧力スイッチではなく、磁石を加温する事で磁力が無くなる物理現象を利用したフェールセーフな蒸気圧スイッチの採用で、さらに信頼性をアップさせました。



3 インバータ装備で省電力

インバータを装備し、快適な職場環境を創造する。

ボイラの燃焼状態に応じて送風機モータの回転速度を調節。消費電力の低減とボイラ低燃焼時の騒音も、回転速度が減少することで低く抑えることができ、快適な環境を創り出します。

消費電力 **約1/2**
(当社比、低燃焼時)

基本仕様

	要 目	単 位	SI-1500VS (低NOx仕様)		SI-2000VR		SI-2500R		備 考
			灯油	A重油	灯油	A重油	灯油	A重油	
本 体	ボ イ ラ 種 類	—	小型ボイラ(多管式貫流ボイラ)						
	検 査 規 格	—	小型ボイラ構造規格						
	取 扱 者 資 格	—	事業主による「特別教育」受講者以上						
	最 高 圧 力	MPa {kgf/cm ² }	0.98 {10.0}						注1,10
	相 当 蒸 発 量	kg/h	1,500		2,000		2,500+2,250		注4
	実 際 蒸 発 量	kg/h	1,260		1,680		2,100+1,890		注4,5
	熱 出 力	MW {kcal/h}	—		1.25 {1,078,000}		1.57 {1,348,000}+1.41 {1,213,000}		注1,4
		kW {kcal/h}	940 {808,500}		—		—		
	伝 熱 面 積	m ²	9.90		9.95		9.88		
	ボ イ ラ 効 率	%	95		96+95		95		注3,4
	保 有 水 量	L	138				170		
	燃 料 消 費 量	L/h	102.4	97.0	135.1+136.5	128.1+129.4	170.6+153.2	161.8+145.3	注2,4
		kg/h	81.9	83.5	108.0+109.2	110.1+111.3	136.5+122.6	139.1+124.9	注11
	使 用 電 源	—	AC 200V 50/60Hz 3相						
電 源 引 込 線 径	mm ²	14		22		22		注7	
電 源 遮 断 器 容 量	A	75		125		175		注8	
設 備 電 力	kW	8.9		10.35		15.45			
総 電 気 容 量 50Hz/60Hz	kVA	12.2/12.1		15.3/15.1		21.6/20.8			
製 品 質 量 { 重 量 }	kg	2,300		2,510		2,800		注1	
ボ イ ラ 外 形 寸 法	mm	990×2,710×2,595		990×2,710×2,595		1,140×2,780×2,550		注4	
標準水 (W×D×H) 高温水				990×2,695×2,595		1,140×2,765×2,550			
接 続 口 径	蒸 気 出 口		65			80			
	安 全 弁 吹 出 口		50			65		注6	
	給 水 入 口		32		40				
	缶 体 プ ロ ー 口	A				25		注9	
	燃 料 入 口					20			
	濃 縮 プ ロ ー 口					10		注9	
	ス ス 洗 浄 水 プ ロ ー 口					50			
パ ー ナ	排 気 筒	φmm	300		400		450		
	型 式	—	強制押込通風油圧力噴霧方式						
	着 火 方 式	—	高圧電気スパーク方式						
	燃 焼 検 知 方 式	—	紫外線光電管						
オ イ ル プ	燃 焼 制 御 方 式	—	三位制御方式						
	型 式	—	トロコイド方式						
	油 量	L/h	185		255		300		
送 風 機	モ ー タ 出 力	kW	0.3		0.75				
	型 式	—	単段ターボ型						
給 水 プ	風 量 (35℃)	m ³ /min	24.0		31.7+32.0		38.7+35.9		注4
	モ ー タ 出 力	kW	6.0		7.0		11.0		
エ コ イ ン 材	型 式	—	多段うす巻型						
	吐 出 量	L/h	2,500		3,200		4,800		
材 質	モ ー タ 出 力	kW	2.2		3.1				
	型 式	—	エロフィン型						
	材 質	—	特殊耐腐食性金属						

- { }は従来単位系を示します。
- 燃料の発熱量は、下記数値を使用しています。
灯油 低発熱量 43.5MJ/kg {10,390kcal/kg} 密度0.80g/cm³
A重油 低発熱量 42.7MJ/kg {10,200kcal/kg} 密度0.86g/cm³
- (1)ボイラ効率は以下によるものです。
運転状態:運転圧力0.49MPa {5kgf/cm²}、給水温度15℃、給気温度35℃
熱効定方式:JIS B 8222
(2)誤差として、以下の許容値をもつものとしています。
ボイラ効率の誤差 ±1%、燃焼量(入力)の誤差 ±3.5%
- 給水温度は55℃以上で使用するものとします。85℃以上の場合は、高温水仕様となります。
*の値は、高温水仕様の場合の値です。

5. 実際発熱量は、給水温度15℃、蒸気圧力0.49MPa {5kgf/cm²}を基準としています。
6. 安全弁吹出口径は、安全弁の吹出口に接続するエルボの口径を記入しています。
7. 電源線径は、架構ポリエチレン絶縁ビニルケーブル(CV)の線径を示します。
8. 電源遮断器は、漏電遮断器(過電流保護装置付き)を使用してください。
9. 接続口径は、スス洗浄水プロローに接続されています。
10. 蒸気圧0.88MPa {9kgf/cm²}以上で使用になる場合は、別途お問い合わせください。
11. A重油をご使用の場合は、JIS1種1号を推奨致します。
燃焼中の硫黄分と結露水により排気筒内面が腐食します。また、腐食物の飛散により、屋根・建屋・その他周囲のものを腐食させたり汚したりすることがあります。よって硫黄分の低いJIS1種1号を推奨致します。

ボイラ設置の手続き

ボイラを設置した場合、法令で定めるところにより以下の官庁届出が義務付けられています。届出の詳細については、最寄りの三浦工業営業所までお問い合わせください。

■労働基準監督署

小型ボイラ設置報告書

事業主は、小型ボイラーを設置したときは、停滞なく、ボイラー及び圧力容器安全規則により、「小型ボイラー設置報告書」を所轄の労働基準監督署長宛に提出する事。

■消防

危険物に関する届出

危険物を貯蔵または取り扱う施設は、その数量により規制を受けるため所轄の消防署へ届出を行う事。

ボイラ設置届

ボイラを設置する場合、「火を使用する施設設置届出書」を所轄の消防署へ提出する事。

■ばい煙発生施設

大気汚染防止法または地方条例により、ばい煙発生施設に指定されている施設は、ばい煙発生施設届出書を都道府県または所轄の保健所、市へ提出する事。